

## 陶芸でつくる小さな町



このインキュベーションワークでは、陶芸用粘土を使い小さな家や、小物をつくっています。この粘土は家庭用のオーブンの出力で焼くことができますが、見た目は本格的な焼き物らしい質感になります。

また、電気炉を導入したことから温度を1000度近くにまであげられるようになったので、ガラスを溶かすこともできるようになりました。

ガラスの扱いは難しく試行錯誤しながら作品づくりをしています。